

電池金具の錆を除去する

2019.05.26

トミー・マック

1. 要 点

電池金具は電池を入れての長期保存での液漏れで白い粉と錆、電池を入れていなくても長期間経てば電池金具の薄いメッキ層や傷の表面が空気に触れて腐食してしまうこともあります。

電池金具の材質やメッキにより、ニッケルメッキが錆びるとこげ茶色で、鉄は赤茶色の錆、黄銅やりん青銅まで錆びると緑青色になります。その結果、接触不良になります。

2. 方 法

(1) 錆を探す

電池液漏れでの白い粉や錆は発見しやすいですが、微細な錆は目視で発見しにくい場合があります。ルーペなどでよく見て探します。

錆の例として、



これらは目視で分かる錆です。

錆を見逃して修理を進めて行き、おもちゃがバラバラになるまで分解し、最後まで故障原因が分からず、結局は「電池金具の錆」ということもありますので、慎重かつ確実に確認する必要があります。

(2) 錆の除去



電池金具や周辺に電解液や白い粉の付いている場合は、綿棒やウエスにアルコールを付け、表面を拭き取ります。

また、電池金具が接触不良になっている場合は、リューター®（またはルーター）の先端に小さな研磨砥石を装着し、錆を研磨して取り去ります。

終わり